

食品ロスを減らすために、私たちにできることは？

地域名 栃木県小山市

パートナー名 小山市市民生活部環境課

11班 コミュニティデザイン学科 篠原葵 仁戸部沙妃 小川夏穂
建築都市デザイン学科 古澤美海 熊倉健太 長瀬優太
社会基盤デザイン学科 佐藤蒼空 松山郁海 増山拓真
グループ指導教員 大森玲子

【背景】

食品ロスとは、本来食べられるにもかかわらず、捨てられてしまう食品のことである。小山市全体で年間およそ20億円分の手つかず食品が家庭から捨てられている一方で、食支援を必要とする子ども食堂や福祉団体などが存在している。

【目的】

捨てられるはずだった食品を必要な人のもとへ届けることで、食品ロスを削減し、循環型の地域づくりを実現するための取り組みを実施する。

【1st Cycle/ 質的調査】

①調査

小山市内でフードドライブ事業を行っていることを知り、フードドライブにおいて提供・仲介・受取のそれぞれの立場の人に聞き取り調査を行うことで、現状の課題について把握する。

②聞き取り調査結果

	取組み	課題
(提供者) (ギガフォオン)	・社員にフードドライブの声掛け ・社内の備蓄食料の寄贈	・需要と供給の不一致 ・社内でのフードドライブの認知度が低い
(仲介者) (道の駅)	・農家の方から集めた野菜をフードバンクに寄贈 →子ども食堂、おひさま、シリウスに届けられる	・フードドライブの認知度の低さ ・協力してくれる人や供給量が不足している
(受取側) (おひさま)	・受け取った野菜やお菓子を要保護児童に提供	・人手不足 ・需要と供給の不一致

③まとめ

・各団体の代表の方数名にお話を伺った結果、フードドライブに対する認知度が低いと感じていた
・何が必要とされているのか分からない
・協力してくれる人が少なく、十分な供給ができていない
・受取側施設の欲しいものが提供側に伝わっていない
→非常食がたくさん届くが、これらは子どもが日常的に食べる食品ではない
フードドライブの普及と正しい理解が必要

【2nd Cycle/ 実施】

①1stサイクルからの検討

フードドライブの認知度が低い、広く広報活動を行うべきだと考えた。

⇒フードドライブを知らない人にも分かりやすく理解してもらえるようなパンフレットとポスターを作成し、イベントで配布する。

②ポスター・パンフレット作成

【記載したこと】

フードドライブの概要・小山市での活動団体例・回収できる場所や食品・課題などについて(1stサイクルの調査で得られたことも踏まえて作成)

③2つのイベントに参加(11/30)

〈リサイクルフェア〉

リサイクルセンターにて開催
ごみ処理や分別について学べる
→食品ロス削減は環境問題や資源循環という点で関連性があり、フードドライブなどについても関心を寄せられそう

○当日

来場者へのパンフレット配布、ポスター掲示、食品回収

来場者は主に廃棄物減量化対策推進検討会の方々

○回収できた食品

缶詰8、レトルト食品2 計10点

〈おやまいち〉

月1で開催しているフリーマーケット
→来場者が多い、飲食の出店もあるためフードドライブに興味を示してくれそう

○広報

出店者への個別メールとおやまいちの公式インスタグラムにて、フードドライブ活動の周知および、来場者向けの食品提供のお願い

○当日

来場者や出店者へのパンフレット配布、ポスター掲示、食品回収

○回収できた食品

缶詰4、レトルト食品7、乾麺8、調味料5、飲料1、菓子類3、その他2 計30点



【分析結果】

チラシを配布する際に、フードドライブや食品ロスに対してどういう意識があるのかを聞き取りした。

○リサイクルフェア

⇒環境に興味がある来場者が多かったが、全体的にフードドライブの認知は低かった

○おやまいち

・ほとんどが出店者による協力
⇒出店者(特に食品系)の多くがフードドライブに関心を持っていた

・チラシを受け取ってくれた一般の来場者の方は、フードドライブについて知らない方が多かった。

⇒一般市民の認知度が課題、来場者向けのSNS以外の広報活動を検討する必要がある



【提案】

○食品ロスの削減を実践できる地域づくりのため、飲食関係者だけでなく、多くの一般市民に対してもフードドライブの周知を進めていくべきだと考える

〈例〉

・市民が日常的に訪れる場(スーパー、地域の公民館など)でのパンフレット配布、小山市役所や小山駅でのポスター掲示などの啓蒙活動

・「おやまいち」などのイベントでの継続的なフードドライブ活動

・フードドライブ活動を行っている小山市役所の各出張所のPR

・対象をもとと意識の高い飲食関係者に絞り、フードドライブで食品を受け取る場を考案

・食品を渡す側と食品を受け取る側の二者交流の機会を創出

食品ロスやフードドライブに対する関心を高めてもらい、多くの人が協力してくれるようになることで食品ロス削減につながる！

「フードドライブ」

にご協力ください！

フードドライブとは？

小山市内では、家庭や企業で余ってしまった食品を市民の皆様から持ち寄ってもらい、食べ物に困っている人や子ども食堂、福祉施設に提供するフードドライブ事業を行っています。

小山市内では…

・小山市環境課窓口と市内10か所の出張所
※詳細は小山市公式ホームページをご覧ください。

フードドライブの課題

・供給量が足りない！
・需要と供給の不一致！

必要とされる食材の条件

・未使用・未開封のもの
・賞味期限が3か月以上のもの
・食品表示があるもの
・常温保存が可能なもの(腐敗しやすいものは×)

必要な食品が必要な人に届くよう、適切な食品のご提供とご協力をお願いいたします。

※都立大・地域デザイン科学部・地域プロジェクト演習 11班